



# 臼井 しょういち うすい 正一 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 千葉市民の声を活かした県政

### 最後まで全力 2月県議会予算委員会

地方分権と市町村合併が進み「変革と創造・ちば新時代」が進行する中、政令都市・千葉市美浜区から選出された臼井正一（うすい・しょういち）県議は、多くの温かい支持を受けて初当選した県議1期を終えようとしています。「市民みなさんの声を県政に」をモットーに地域の充実施策を要望して「若さと情熱の政治」を着実に進めてきました。

次期県議選が近づき、忙しい2月県議会。その中で、臼井県議は予算委員会で質疑、任期最後の最後まで全力で臨む—という姿勢を見せました。新年度の県政予算を決める重要な委員会で、「インターナショナルスクール計画」「幼稚園私学助成拡充」をはじめ、「IPSアルファテクノロジー」「印旛放水路下流部」について住民の生活視点から質疑、地域の要望をしました。これからも地域のためにチャレンジする臼井正一県議に対する期待が高まっています。

## これからも美浜区のために

# 私学助成の拡充を要望

臼井 子育て支援の観点から、私学助成の拡充、特に幼稚園に対して拡充を図るべきと思うがどうか。

総務部長 平成19年度当初予算の私学助成は、全体で329億2900万円余を計上しました。その中で幼稚園については経常費助成として前年度に比べ約3億円増の131億8600万円余の予算を計上するとともに子育て支援活動の充実に向け、「親と子の育ちの場推進経費」

についても5200万円の増額をしました。今後も少子化社会における幼児期の教育の重要性に鑑み、子育て支援に対する助成などを含め、総合的な助成の充実に努めていきたいと考えています。

また、昨年6月に発表した「千葉新産業振興戦略」において、7つのクラスターを設けましたが、この地域は7つのクラスターのひとつとして、IT・エレクトロニクス産業のいっそうの集積を図る地域と位置づけるところです。

### IPS社 創業の県内取引55億 2倍増産でさらに増

臼井 県はIPSアルファテクノロジーの現時点での立地効果をどのように見ているか。

さらに増えるだろうとの報告を受けています。仮にIPS社が他県に立地していた場合、これらすべてが生まれなかったわけ

で、茂原を中心とした県中央部にとって大きな経済的な損失があったと考えています。

商工労働部長 雇用面はもとより、IPS社の投資約1100億円、生産活動として、32型換算で年250万台の生産のほか、工場の稼働により日常的に色々なサービスのニーズがあり、多くの関連企業が受注を増やしています。

臼井 IPSアルファテクノロジーの立地を、県がこれから進めようとする産業政策とどう結びつけていこうとするのか。

商工労働部長 日立や双葉拠点の茂原への立地は、大きな波及効果を生み出し、今後の本県産業政策上の重要な意味を持つものであると考えています。

最先端の液晶パネル製造拠点の茂原への立地は、大きな波及効果を生み出し、今後の本県産業政策上の重要な意味を持つものであると考えています。



IPS社からは、県内企業との取引は、平成18年5月の操業開始時約55億円、19年度下期には500万円

電子などの企業が茂原地域に立地していますが、この地域は従前から県内でも有数のエレクトロニ

#### うすい正一県議プロフィール

- 経歴
- 昭和50年1月 千葉市検見川町生まれ
- 平成9年3月 日本大学文理学部卒業・英オックスフォード・アカデミー修了
- 平成14年12月 (株)オリエンタルランド退社 衆議院議員秘書
- 平成15年4月 県議会議員選初当選

#### 現職

- 県議会 商工労働企業常任委員会副委員長
- 千葉県 生活衛生適正化審議会委員
- 自民党県連 県民運動本部委員

県政や千葉市美浜区のご相談、ご意見を聞かせてください

うすい正一 後援会

〒261-0004 千葉市美浜区高洲1-9-72  
TEL 043-244-0033  
FAX 043-344-2200

メールもお気軽に、ホームページも開設しています。 E-mail usui@shoichi.info URL=http://www.shoichi.info



# 幕張新都心にインターナショナルスクール

# 「産官学」連携で県も支援

## 最後まで全力 2月県議会予算委員会



2月県議会予算委員会で質疑をする臼井正一県議

### うすい正一県議会レポート

臼井 インターナショナルスクールの設立計画に至った経緯は何か。

知事 国際化が進む中で特に外国企業の立地の多い幕張新都心では必要不可欠だと思っております。幕張新都心では当初からインターナショナルスクールの立地を計画しており、これまで長期にわたり設立の可能性を模索してきた経緯があります。

平成19年3月 学校関係者で「幕張インターナショナルスクール設立推進協議会」を設立し、事業の進め方を検討した結果、産・学・官が協力して新しい学校法人を設立し、イン

ターナショナルスクールの運営に当たることとしたものです。

臼井 インターナショナルスクールに県が出捐する意義をどう考えているのか。知事 設立推進協議会における検討では、本事業は非常に公共性の高いものであり、その推進にあつては、行政、経済界、学校関係者が、その立場に応じて負担や協力を行うことが重要という共通の認識です。県としても早期に実現するため出捐を決めました。1回限

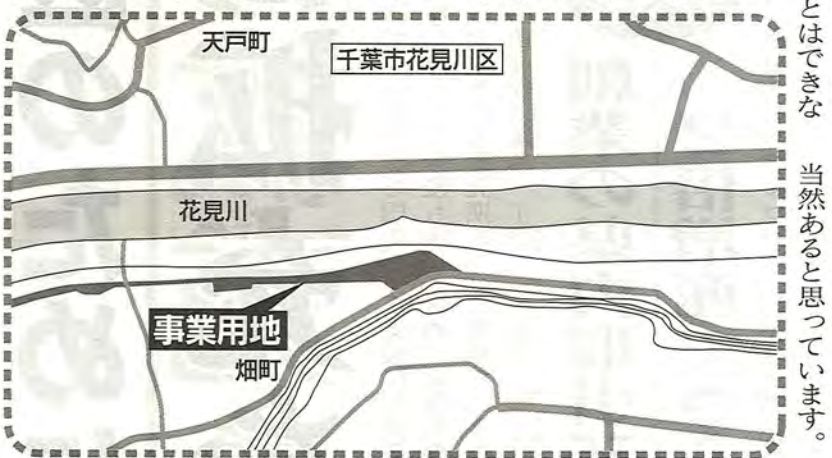
りの拠出で私学助成金とは目的・性格が異なります。臼井 協議会に幼稚園の私立の関係者が入っていないと聞いていますか。知事 政策調整担当部長 産・学・官は幕張の企業だけでなく、千葉に縁のある企業と



臼井 どのタイミングで出捐金を拠出するのか。政策担当部長 今回、新たに学校法人を設立することに進めていますが、学校設置の手順は①学校設置計画を申請し、その承認を得た後に②学校法人設立準備財団の設立認可を受け③学校施設を建設・整備し④その完成後に学校法人および学校設置の認可を受ける一も

臼井 印旛沼放水路下流部、通称花見川で先行的に取得した河川用地について地元で活用を図ることはできないか。県土整備部長 工事まで時間がかかる箇所について、適正な管理が確保されると認められる場合、利活用することは可能です。占有許可の団体は、公共団体に限られているので具体的な利活用の要望があれば千葉市と調整したい。

臼井 河川用地を市町村が借りる場合、賃貸料



花見川河川用地 生涯スポーツ広場への地元活用も可能 政策調整担当部長 県からの出捐を出すことにより、県のコミットメントが高まります。県の政策的な意義を十分に説明し、企業や関係する産学官の方々にご理解いただけるものと考えています。私はできると確信しています。

### 2月県議会自民党代表質問

**実質県債残高、182億円の減**  
2月定例県議会で、最大会派の自民党の代表質問に、自民党県連政調会長を務める齋藤万祐県議が質問し、4期IIが登録されました。  
齋藤県議は財政問題で、168億円の財源不足を抱えた平成19年度一般会計当初予算案について多岐にわたり質問。県債残高が増加したことについて堂本晴子知事は、成田高速鉄道の建設促進や防災・耐震対策、退職手当償還の増額で、発行額が今年度比で69億円増えたと報告。「地方建設債等の実質的な残高は182億円の減となり、一定の抑制が図られた」と釈明した。幕張新都心に計画しているインターナショナルスクールの整備効果への質問では、「国際都市に不可欠。海外駐在員や研究員など国際性に富んだ人材の集積が図られ、外資系企業誘致もやりやすくなる」と答えた。  
齋藤県議はこのほか、県内水道統合、第2ステージの市町村合併、私学助成の充実、防災問題、乳幼児医療費補助など幅広い県政課題を取り上げ、県執行部の姿勢をたどりました。

# 若さと行動力の32才!!

# うすい正一

県議

## USUI SHOICHI